

【美祢市】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

学校・保護者・地域（あつマロンネット等）・関係機関が連携し、災害に対する備えについての学習、防災訓練や避難所生活を想定した宿泊体験、救急救命訓練等を含む総合的な体験学習を実施することにより、児童生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら安全に行動することはもとより、他の人や社会の安全に貢献できる心と実践力の育成を図ります。



実施内容

- 1 実施日時：平成28年8月26日（金）・27日（土）
- 2 実施場所：厚保中学校体育館、厚保公民館及び各地区避難所（小中学校）
- 3 参加者：厚保小学校児童33人、川東小学校児童8人、東厚小学校児童5人
厚保中学校生徒26人、関係学校教職員25人、厚保保育園12人
関係学校保護者25人、地域住民20人、市教育委員会11人、県教育委員会1人

4 プログラム

【1日目】8月26日（金）

12:15	14:00	14:30	15:00	15:50	17:00	19:00	20:00	22:00	
避難訓練	開会行事	【学習Ⅰ】 [講話] 学校防災 アドバイザー	【学習Ⅱ】 [防災クイズ] 中学校 生徒会	【学習Ⅲ】 避難所 ルールづくり	【学習Ⅳ】 [講話・演習] N T T 災害対策課	夕 寝 床 づ く り 食	【学習Ⅴ】 [講話] 自衛隊山口 地方協力本部	就 寝 準 備 振 返 り	就 寝

【2日目】8月27日（土）

6:30	7:00	8:00	9:00	11:00
起 床	朝 食	清 掃 ・ 片 づ け	【学習Ⅵ】 [講習] 防災・減災ワークショップ ・非常持ち出し品確認 ・応急手当・担架づくり ・救援グッズ体験 等	閉 会 行 事

5 活動の様子

1日目

《避難訓練》

豪雨で河川が氾濫したという想定で避難指示が出され、児童生徒及び地域住民が最寄りの避難所に避難しました。



〔消防団による呼びかけ〕



〔避難訓練〕



〔避難訓練〕

《講話 講師：学校防災アドバイザー》

《防災クイズ：厚保中学校生徒会》

学校防災アドバイザーの幸坂さんから、防災に関する心構えや避難所生活における大切なことについて講話をいただきました。その後、中学校生徒会が作成した「防災クイズ」に、参加者全員で挑戦しました。



〔幸坂さんによる講話〕



〔防災クイズ〕



〔防災クイズ〕

《避難所ルールづくり》

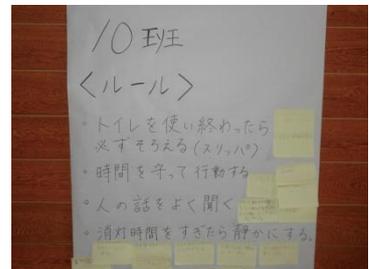
学校防災アドバイザーの方に助言をいただきながら、避難所におけるルールを班で話し合い、大判用紙にまとめました。



〔ルールづくり〕



〔ルールづくり〕



〔体育館に掲示〕

《講話・演習 講師：NTT西日本災害対策課》

「災害伝言ダイヤル171」についての仕組みや使い方を学ぶとともに、実際にメッセージを録音する等の体験を行いました。



〔仕組みについて学ぶ〕



〔使い方について学ぶ〕



〔171を実際に体験〕

《寝床づくり・夕食準備》

避難所である体育館に、生活及び就寝スペースを確保しました。また、トイレや給水所までの経路の確認等を行いました。

その後、夕食として、非常食であるアルファ化米や乾パンをいただきました。



〔就寝スペースの確保〕



〔夕食（アルファ化米）準備〕



〔夕食〕

《講話 講師：自衛隊山口地方協力本部》

厚保地区にお住まいの自衛隊員の方に、被災地支援体験（東日本大震災）についての講話をいただきました。



〔講話〕



〔質問する生徒〕



〔防護服等の展示〕

2日目

《講習 防災・減災ワークショップ 講師：日本赤十字社》

日本赤十字社の方の指導のもと、非常持出品の確認や救援グッズ体験等のさまざまな活動を行いました。



〔非常持出袋〕



〔非常持出品の確認〕



〔救援グッズ体験〕



〔簡易担架づくり〕



〔応急手当〕



〔毛布ガウンづくり〕

【児童・生徒の感想より】

- 知ること、見ること、伝えることが大事だということが分かりました。誰かに身を守ってもらうのではなく、自分の身は自分で守らなければいけないと思いました。(中2男子)
- 自分の命は自分で守ることが大切だと思いました。すべてを人任せにするのではなく、自分でできることは何かをよく考えて行動したいです。(中3男子)
- 東日本大震災の救援活動の講演で、お風呂に長い間入れず、十分に寝ることもできない厳しい状況の中で、一日も早く家族のもとに帰ってあげたいという想いで、1か月も救援活動を続けたという話を聞いて感動しました。(中2女子)
- 防災キャンプではお風呂にも入れないし、食事も好きなものが食べられないので嫌なところもありましたが、避難所で生活するようになったら、毎日そういう生活を送らなければならないので、大変だとおもいました。(中2女子)
- 2日間で学んだことは、協力することの大切さです。例えば、毛布で担架を作って人を運ぶ時も一人ではできません。皆が力を合わせてはじめて安全に運ぶことができるのです。これは日ごろの学校生活でも同じだと思います。これからは、お互いに助け合って、楽しい学校生活を送れるようにしたいです。(中3女子)